

支え愛♡響き愛

山口市立秋穂中学校

1年部

令和7年5月16日 発行

入学してから約6週間経ちました

生徒たちは、中学校生活にも慣れ、明るく元気に過ごしています。集中して授業を受けたり、話す人の方を向いて話を聞いたり、元気のよい声で歌ったり、委員会や係活動に意欲的に取り組んだり、給食の配膳を手際よく行ったり…。前向きな行動を継続し、お互い支え合って過ごしてほしいと思います。

昇降口にはメッセージボードが設置されており、日替わりで、すてきな言葉が掲示されています。先日、次のような言葉が掲示されていました。「口は人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう。」これは、以前秋穂中学校で「命の授業」の講演をされたこともある腰塚勇人さんの「五つの誓い」の中の一つです。掲示板の前で少し足を止め、日頃自分が発する言葉にも意識を向けてみるとよいかもしれませんね。



授業参観、PTA 総会、学年保護者会、部活動保護者会

お世話になりました

4月26日(土)に、中学生になってから初めての授業参観が行われました。お忙しい中、多くの保護者の方にご参加いただき、ありがとうございました。1年生は、英語の授業を参観していただきました。生徒同士で英語で会話をしている様子などを見ていただけたのではないかと思います。授業参観後のPTA総会では、昨年度の事業報告や会計報告、新役員の紹介などが行われました。学年保護者会では、学年の様子や、学年行事、テストについてなどお話しさせていただきました。部活動保護者会では、各部の方針など聞かれたのではないのでしょうか。保護者の皆様と教職員が協力しながら、よりよい秋穂中をつくっていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



秋穂についての講話 ふるさと学習(総合的な学習の時間)

1年生の総合的な学習の時間では、地域学習に取り組んでいます。自分たちが育ってきた故郷について調べ、考え、語り合うことを通して、秋穂のことを詳しく知り、より愛着を深める機会となつてほしいと思っています。

5月8日(木)の5校時、地域の福江敏浩様に、秋穂についてお話をいただきました。お大師まいり、善城寺、小林和作さん、昔の秋穂中についてなど、事前に質問したことについて、分かりやすく答えてくださいました。小林和作さんの絵なども見せていただき、充実した時間となりました。

いくつか感想を紹介します。

- ・八十八ヶ所の始まりは、人々が飢えに苦しんでいたため、性海法印と戒屋作右衛門が四国の八十八ヶ所を回ったことから始まったことは知りませんでした。お接待も昔は自分の家でとれたさつまいもやたんざく形のおもち、おにぎりなどを渡していたというのも初めて知りました。善城寺についても、京都に年貢を納めるための管理をしていた寺というのも知らなくて、びっくりしました。
- ・小林和作さんの絵や大村益次郎さんの手紙を見させていただきました。絵は、いろんな色が使われていて、すてきだったし、手紙は何と書いてあるか全てはわからなかったけれど、秋穂という文字があつてうれしかったです。秋穂のことについて、これからも知っていきたいです。
- ・昔の人は歩いて巡っていたので、泊まっていたことに驚きました。秋穂祭りは、秋穂の良さを知るために始まったことを知って、次から秋穂祭りに行くときには、秋穂の良さをどうやって知らせようとしているのか見てみたいと思いました。小林和作さんは、山と海の絵を得意と知って勉強になったと思いました。



お詫び

4月8日発行の学年通信の1年生教科担当の教員紹介において、名前の誤記がありました。申し訳ございません。社会科の担当教員は「原田達」です。